

1. 事故発生の日時 令和元年7月24日(水) 9時33分頃

2. 事故発生の場所 田辺市

3. 事故発生場所の工事名、工期

工事名：道路災害復旧工事

工期：平成30年12月22日～令和元年9月28日

4. 請負業者名 県内建設業者

5. 事故発生状況

大型ブロック積にて兼用護岸の復旧が完了し、復旧舗装の施工中であった。

転落箇所付近では0.09m3BH併用で人力によるAs舗装を行っており、4tダンプにてアスファルト合材を運搬してきた被災者がアスファルト合材の敷均し作業を手伝う為に、レイキを持って転落箇所に来たと同時にバランスを崩し、直高約5mの大型ブロック積の天端から後ろ向きに川へ転落し負傷した

○男性1名負傷 腰椎椎体等の骨折等

6. 事故原因

- ・高さが2メートル以上の作業床の端、開口部等で墜落により労働者に危険を及ぼすおそれのある箇所に、囲い、手すり、覆い等を設けていないこと。
- ・朝礼に参加できなかった作業員が、そのまま作業を行ったこと。

7. 改善対策

- ・KY活動を徹底させ、工事関係者が現場の危険箇所を事前に把握する。
- ・墜落・転落防止柵を設置してから作業を行う。また、墜落・転落防止柵を設置する時は親綱ロープを設置し、安全帯を使用して施工を行う。
- ・材料等の運搬で、朝礼に参加できなかった作業員は、現場到着時に個別に朝礼内容等を周知する。